

2020年度 公開講演会・公開研究会

公開研究会	
主 催	研究会チーム「18・19世紀英国の女性詩人」
日 時	2021年3月30日（火）10：30～13：00
開催形式	オンライン(Webex)
講 師	笹川 浩 研究員（商学部教授）
テーマ	ヘマンズの3編の詩を読む（2）

公開研究会	
主 催	研究会チーム「アフロ・ユーラシア大陸における都市と国家の歴史」
日 時	2021年3月27日（土）14：00～18：33
開催形式	オンライン(Webex)
講 師	(1) 張 建林 氏（中国西北大学特別教授・陝西省考古研究院元副所長） (2) 山内 和也 氏（帝京大学教授、帝京大学文化財研究所） (3) 山藤 正敏 氏（奈良文化財研究所研究員）
テーマ	(1) 楚河流域的唐代仏教遺址与遺物 (2) スイヤブ研究ノート：発掘調査の成果と課題 (3) 碎葉鎮とアク・ベシム遺跡－ラバト地区の考古学調査（2015～2018年）－

公開研究会	
主 催	研究会チーム「アフロ・ユーラシア大陸における都市と国家の歴史」
日 時	2021年3月23日（火）18：00～20：00
開催形式	オンライン(Webex)
講 師	McDermott, Joseph, P 氏 (University of Cambridge, St. John's College, Emeritus Reader, Fellow)
テーマ	Merchants in Late Imperial China: Obstacles and Solutions

公開研究会	
主 催	研究会チーム「18・19世紀英国の女性詩人」
日 時	2021年3月23日（火）10：30～12：30
開催形式	オンライン(Webex)
講 師	笹川 浩 研究員（商学部教授）
テーマ	ヘマンズの3編の詩を読む

公開研究会	
主 催	研究会チーム「惑星的視点とアメリカ文学研究の可能性」
日 時	2021年3月21日（日）15：00～19：30
開催形式	オンライン(Zoom)
講 師	今村 楯夫 氏（東京女子大学名誉教授） ファシリテーター：鹿兒島 有里 氏（編集者） 渡邊 藍衣 氏（東京女子大学非常勤講師）
テーマ	今村楯夫氏に聞く－ヘミングウェイ「老人と海」をめぐって

公開研究会	
主 催	研究会チーム「移民を背景とする青少年の人間形成に関する日欧比較研究 —学校から職業 への移行に着目して—」
日 時	2021年3月10日（水）16：00～18：00
開催形式	オンライン(Webex)
講 師	吉田 美穂 氏（弘前大学大学院教育学研究科准教授）
テーマ	外国につながる子どもの教育支援を考える —集住地域・神奈川と散在地域・青森の比較から

公開研究会	
主 催	研究会チーム「視覚と認知の発達」
日 時	2021年3月9日（火）15：30～17：00
開催形式	オンライン(Zoom)
講 師	磯村 朋子 氏（名古屋大学情報学研究科准教授）
テーマ	内受容感覚から考える社会認知科学
共 催	科学研究費助成事業 新学術領域研究（研究領域型提案） 「トランスカルチャー状況下における顔身体学の構築—多文化をつなぐ顔と身体表現」

公開研究会	
主 催	共同研究チーム「発達障害傾向を有する大学生についての縦断的研究」
日 時	2021年3月1日（月）14：00～16：00
開催形式	オンライン(Webex)
講 師	(1) 岩本 友規 氏（明星大学発達支援研究センター研究員） (2) 石川 千佳子 氏（法学部嘱託職員・CSW） (3) 小谷野 博 氏（学生部事務室都心学生生活課嘱託職員・CSW）
テーマ	共通テーマ：発達障害者における「自己理解」 (1) 発達障害者にとって「主体的な自己」とは何か (2) 自己理解を深めるカウンセリング (3) 自己理解を深めるための環境調整

公開研究会	
主 催	研究会チーム「言語知識の獲得と使用」
日 時	2021年2月27日（土）13：00～15：00
開催形式	オンライン(Zoom)
講 師	福田 純也 氏（理工学部准教授）
テーマ	意識の機能と第二言語習得
共 催	科学研究費基盤研究（B）第二言語学習者および継承語話者による文処理と意味理解に関する理論的・実証的研究

公開研究会	
主 催	課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業 領域開拓プログラム 「脳機能亢進の神経心理学によって推進する「共生」人文社会科学の開拓」
日 時	2021年2月23日（火）14：00～17：15
開催形式	オンライン(Zoom)
講 師	(1) 熊谷 恵子 氏（筑波大学人間系教授） (2) 辰元 宗人 氏（獨協医科大学病院医療安全推進センター教授） (3) 石川 智治 氏（宇都宮大学工学部准教授） (4) 重宗 弥生 客員研究員（中央大学研究開発機構 機構助教）
テーマ	共通テーマ：過敏性の科学—光・音からギャンブルまで— (1) 光の過敏症（アーレンシンドローム）と発達障害 (2) 片頭痛と光環境 (3) 片頭痛患者の音に対する心理生理反応～診断や治療を見据えて～ (4) 問題ギャンブラーの報酬/罰刺激に対する鋭敏性：視線計測と瞳孔径からの検討
共 催	人文科学研究所 研究会チーム「高次脳機能の総合的理解」 科学研究費基盤研究（A）過敏性を通じた発達障害や認知症の連続的理解

公開研究会	
主 催	研究会チーム「高次脳機能の総合的理解」
日 時	2021年2月20日（土）13：30～15：20
開催形式	オンライン(Zoom)
講 師	関 啓子 氏（三鷹高次脳機能障害研究所 所長、神戸大学大学院保健学研究科 客員教授）
テーマ	私の脳梗塞と障害理解

公開研究会	
主 催	研究会チーム「南北アメリカの歴史、社会、文化」
日 時	2021年2月20日（土）14：00～16：00
開催形式	オンライン(Zoom)
講 師	矢島 宏紀 氏（昭和女子大学国際学部特命講師）
テーマ	建国期アメリカの教会と政治—ヴァージニアの場合

公開研究会	
主 催	研究会チーム「高次脳機能の総合的理解」
日 時	2021年2月10日（水）18：30～20：00
開催形式	オンライン(Webex)
講 師	井出 正和 氏（国立障害者リハビリテーションセンター研究所研究員）
テーマ	自閉スペクトラム症者の感覚モダリティごとの反応様式の多様性

公開研究会	
主 催	研究会チーム「国際化と語学教育」
日 時	2021年2月6日（土）17：00～18：30
開催形式	オンライン(Zoom)
講 師	ベンティン, ガービー 客員研究員 (秀明大学英語情報マネジメント学部准教授、商学部兼任講師)
テーマ	言語相対性と語学授業

公開研究会	
主 催	研究会チーム「考古学と歴史学」
日 時	2021年1月27日（水）13：30～15：00
開催形式	オンライン（Webex）
講 師	植月 学 氏（帝京大学文化財研究所准教授）
テーマ	牛馬の考古学

公開研究会	
主 催	研究会チーム「南北アメリカの歴史、社会、文化」
日 時	2021年1月26日（火）10：30～13：00
開催形式	オンライン（Zoom）
講 師	北田 依利 氏（ラトガーズ大学歴史学部博士課程）
テーマ	親密圏と帝国：米領フィリピン・日本人植民者コミュニティの二世教育

公開研究会	
主 催	研究会チーム「考古学と歴史学」
日 時	2021年1月20日（水）13：00～15：00
開催形式	オンライン（Webex）
講 師	中山 誠二 氏（帝京大学文化財研究所客員教授）
テーマ	マメと縄文人

公開研究会	
主 催	研究会チーム「南北アメリカの歴史、社会、文化」
日 時	2020年12月26日（土）10：30～13：00
開催形式	オンライン（Zoom）
講 師	川口 悠子 氏（法政大学工学部准教授）
テーマ	「新たな任務」としての放射能除染事業 一ワシントン州ハンフォード・サイトにおける展示の考察

公開研究会	
主 催	研究会チーム「リアリティの哲学」
日 時	2020年12月23日（水）18：00～20：00
開催形式	オンライン（Webex）
講 師	入不二 基義 氏（青山学院大学教授）
テーマ	現実と実在と潜在と

公開研究会	
主 催	研究会チーム「国際化と語学教育」
日 時	2020年12月12日（土）16：00～17：30
開催形式	オンライン（Zoom）
講 師	吉村 謙輔 研究員（商学部教授）
テーマ	Challenges of Zoom Language Classes

公開研究会	
主 催	研究会チーム「考古学と歴史学」
日 時	2020年12月3日（木）13：30～15：00
開催場所	多摩キャンパス2号館4階 研究所会議室 1
講 師	菅頭 明日香 氏（青山学院大学准教授）
テーマ	考古学における考古地磁気の新たな活用

公開研究会	
主 催	研究会チーム「芸術と批評」
日 時	2020年11月8日（日）20：00～22：00
開催形式	オンライン(Webex)
講 師	菅尾 友 氏（オペラ演出家）
テーマ	コロナ禍中にオペラを演出するー菅尾友のヨーロッパでの挑戦

公開研究会	
主 催	研究会チーム「高次脳機能の総合的理解」
日 時	2020年9月18日（金）13：00～14：30
開催形式	オンライン(Webex)
講 師	佐藤 弥 氏 （理化学研究所ロボティクスプロジェクト心理プロセス研究チーム、チームリーダー）
テーマ	表情知覚：心理・神経メカニズムと非定型パターン

公開研究会	
主 催	研究会チーム「スペイン語圏の歴史と文化」
日 時	2020年9月11日（金）16：00～18：00
開催形式	オンライン(Webex)
講 師	三瀨 みづほ 客員研究員（日本大学・関東学院大学・昭和女子大学非常勤講師）
テーマ	宮廷会議と献策書 -16、17世紀のモリスコ問題をめぐって-

公開研究会	
主 催	研究会チーム「南北アメリカの歴史、社会、文化」
日 時	2020年9月8日（火）11：00～13：00
開催形式	オンライン(Zoom)
講 師	増田 直子 氏（文学部兼任講師）
テーマ	日系アメリカ人収容所の外から見た再定住 ーチャールズ・キクチの日記を中心にー

公開研究会	
主 催	研究会チーム「高次脳機能の総合的理解」
日 時	2020年9月6日（日）17：00～18：00
開催形式	オンライン(Webex)
講 師	柳澤 邦昭 氏（京都大学こころの未来研究センター特定講師）
テーマ	死関連思考の認知神経基盤

公開研究会	
主 催	研究会チーム「高次脳機能の総合的理解」
日 時	2020年8月27日（木）10：00～11：30
開催形式	オンライン(Webex)
講 師	浅川 伸一 氏（東京女子大学助手）
テーマ	自然言語処理分野における最近の進歩と心理学への示唆

公開研究会	
主 催	研究会チーム「視覚と認知の発達」
日 時	2020年7月10日（金）14：00～15：30
開催形式	オンライン(Zoom)
講 師	中村 耕作 氏（國學院大學栃木短期大学准教授）
テーマ	考古学研究法と縄文土器の基礎知識
共 催	科学研究費助成事業 新学術領域研究（研究領域型提案） 「トランスカルチャー状況下における顔身体学の構築—多文化をつなぐ顔と身体表現」

公開研究会	
主 催	研究会チーム「視覚と認知の発達」
日 時	2020年6月29日（月）16：30～18：00
開催形式	オンライン(Zoom)
講 師	田中 彰吾 氏（東海大学教授）
テーマ	身体性から考えるミニマル・セルフとナラティブ・セルフ
共 催	科学研究費助成事業 新学術領域研究（研究領域型提案） 「トランスカルチャー状況下における顔身体学の構築—多文化をつなぐ顔と身体表現」

公開研究会	
主 催	研究会チーム「視覚と認知の発達」
日 時	2020年5月25日（月）14：30～16：00
開催形式	オンライン(Zoom)
講 師	山田 祐樹 氏（九州大学准教授）
テーマ	正統派暗室系実験心理学者が中国山奥での屋外実験を通して至った混乱
共 催	科学研究費助成事業 新学術領域研究（研究領域型提案） 「トランスカルチャー状況下における顔身体学の構築—多文化をつなぐ顔と身体表現」